

**一般社団法人
プロジェクト結コンソーシアム**

第6期 事業報告

自平成28年1月1日 至平成28年12月31日

1. 法人の状況に関する重要な事項

【法人設立の背景・目的】

震災で子どもたちの学び・遊びの場や機会が、大きく損なわれてしまいました。東北・日本の未来を担う子どもの成長の機会を一日も早く復旧させることはもとより、創造的で多様性に溢れる学び・遊びの機会を日本、世界の賛同団体や個人が皆で支える(やりたい人ができることをやれるだけ)ことができないか。また、子どもたちが主体性と希望に溢れ、自立心を持つ青年に成長する場に被災地を変革させることはできないか。そのような思いに基づき、私たちは一般社団法人プロジェクト結コンソーシアム(以下、プロジェクト結)を2011年に立ち上げました。

「被災地の教育の復旧≒震災前に戻す」ではなく、次代の成長を担う人材を豊富に輩出する「人材育成の先進地域」へと東北を再興し、日本における教育の新たなモデルを生み出す。震災後に立ち上げたにも関わらず、多くの教育委員会(23都府県・58市区町村の教育委員会等で構成される全国コミュニティ・スクール連絡協議会を含む)、地方自治体に賛同いただいたのは、上記趣旨への賛同が背景にあります。

プロジェクト名の「結(ゆい)」とは、日本古来に伝わる、田植え・屋根葺き等一時に多大な労力を要する農や生活の営みを共同作業で行う制度です。「結(ゆい)」という名には、官民や地域の垣根を越え、被災地の創造的復興に知恵と力を出し合い、子どもたちの成長を皆で支えたいという思いを込めています。同時に、「結」は本団体が提供する価値も表します。それは、子ども、ご家族、学校関係者など被災した方々の様々な学び・遊びへのニーズと、賛同企業・個人のノウハウを適切にマッチング(結び合せ)することです。被災地のニーズをていねいに拾い、提供側の「押し付け」や「一回限り」にならない、継続的で実効性の高い学びの機会を多面的・複合的に提供することを結はめざします。

【活動の概要】

2016年は、仮設団地内集会所での「みんなの場」事業、未就学児の託児と学童保育「結のいえ」事業、石巻市教委と連携し市内の小中学校を対象とした「学校サポート」事業を実施いたしました。

5年目の活動の内容は、発災当初の緊急度の高い「復旧・復興」のステージから、支援する側・支援される側がより密な関わりを持つ「協働」へと変化しています。プロジェクト結の2016年の活動テーマには、「自立」を掲げました。2016年の活動は、「震災前に戻す」ことと同時に、この5年間で育んだ関係性を活かし、地域に持続的な活動を生み出していく創造的な協働を進めて、「自立」に向ってさまざまな活動をいたしました。

(1) 日常支援事業

「みんなの場」事業については、昨年度から、大橋団地、南境7団地、向陽団地の3か所で月1～週3回程度、放課後の遊び場として、運営を行っていましたが、8月に向陽団地での活動を終了しました。これは、仮設住宅の住民減少による参加者減少と域外からのボランティア受け入れ

終了によるものです。また 12 月には大橋団地での活動を、参加者の減少と運営メンバーの転居などのため、終了しました。これにより、「みんなの場」事業は、今後南境 7 団地のみの運営となります。

[実施実績]

- ・ 開成団地 : 2011 年 8 月開始、週 3 回程度、子ども参加平均:10~15 名、2014 年 3 月終了
- ・ 押切沼団地 : 2012 年 6 月開始、週 1 回、子ども参加平均 4~8 名、2014 年 3 月終了
- ・ 東北電子 : 2012 年 9 月開始、週 2 回、子ども参加数:10 名前後、2014 年 3 月終了
- ・ 大橋団地 : 2011 年 9 月開始、週 1 回程度、子ども参加平均:10 名前後 2015 年 12 月終了
- ・ 南境 7 団地 : 2012 年 3 月開始、週 3 回程度、子ども参加平均:15 名前後
- ・ 向陽団地 : 2012 年 2 月開始、月 1 回、子ども平均参加:10 名前後、2015 年 8 月終了

※大橋団地、南境 7 団地は現地スタッフのみでの運営

(2)学校サポート事業

小学校・中学校の先生方が、より子どもと向き合える時間を確保できるようになることを目的に、ボランティアレベルで対応できる事務業務等をプロジェクト結でお手伝いしています。2014 年 7 月には「石巻学校サポートセンター」を立ち上げ、スタッフ 2 名を中心に活動を行っています。

主な活動には以下の 3 つがあります。一番ご要望が多く、かつ専門的な知識が求められる①の図書整理に関しては、結メンバー 1 名が、図書館司書資格を取得し、共に活動する結メンバーや学校の先生方、学校司書さんたちに、様々な知見やノウハウをシェアできる体制を整えています。

なお、2016 年 4 月より、石巻市教育委員会から初めて学校司書さんが 3 名配され、合計 6 校の小中学校で司書業務を開始しました。プロジェクト結は、各学校司書さんに対して OJT 研修に似た形で、学校ごとに違う図書整理のやり方やオペレーションの全体像などを伝えています。

- ① 学校支援活動(図書整理・プール掃除の支援など)
- ② 教職員のための学びサポート
- ③ 教育に関する物品の貸し出しサポート

また、中学校の「職業講話(キャリア教育支援)授業」に講師を募集し、派遣する支援事業も継続して実施しております。

[主な事例]

- ・ 学校プール清掃 : 須江小学校、湊小学校、広瀬小学校、和瀬小学校、大原小学校、釜小学校
- ・ 学校図書整理 : 鮎川小学校、万石浦小学校、大原小学校、北上小学校、二俣小学校、釜小学校、前谷地小学校、渡波小学校、雄勝中学校、大須中学校、等
- ・ 職業講話(キャリア教育支援) : 桃生中学校、飯野川中学校、気仙沼市立新月中学校 等

(3)託児所事業

2013年2月より石巻市中里に託児・学童保育施設「結のいえ」を設立し、石巻市内に不足していた一時保育のサービスを提供することで、仮設住宅等で子育てを行う家族をサポートしてきました。

3年間順調に中里で、託児と学童保育を行ってきましたが、次なるステップとして、2016年3月末に、その運営を地元企業に引き継ぐこととし、石巻市吉野に「結のいえ」を移転しました。同4月からは、地元で水産加工業を営む湊水産株式会社が託児事業の運営を引き継ぎ、地元企業による地域の方々のための託児事業「結のいえ保育園」が開始しました。

プロジェクト結は、これまでの運営経験を活かして、事業運営のノウハウ提供や保育士さんたちの保育の質を高める手助けを行うなど、側面から支援を継続しています。なお今後、同保育園は、内閣府助成による「企業主導型保育事業」を目指して、認可申請などを行っていく予定です。

[実施実績]

・2016年1月～3月の3か月間の利用人数はのべ959名(前年同期間 854名)、利用時間はのべ4,669時間(前年同期間 4,741時間)になりました。

2. 業務の適正を確保するための体制の整備についての決議の内容の概要

当法人は監事設置一般社団法人であり、法令に定められている社員総会及び理事会を設置しています。

理事会は、9名で構成され、随時開催されるグループウェアやインターネット通話を通じた会議の中で、法令に定められた事項のほか経営に関する重要議案を決議しています。決議の内容は全て議事録としてグループウェア上に公開され、理事、監事の他、当法人の運営に携わるすべての主要メンバーに常時開示されています。

【附属明細書】

特に事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。